

# 仲西 (男子)

## 九州中学生選抜ハンドV

# 浦西 (女子)

21日まで大分市で行われたハンドボールの第33回九州中学生選抜で県勢が決勝に勝ち上がり、女子は神森との県勢対決を浦西が20-19で制して優勝した。男子は仲西が春吉Jr（福岡）に27-22で勝利し、頂点に立った。男女決勝とも延長までもつれる接戦だった。

### 6点差追い付き、延長で圧倒 仲西

○…前半、練習してきた連係がかみ合わず、6点差を付けられて終えた男子仲西。ハーフタイムで「後半が勝負。粘ってリスタートをすぐにしよう」と選手間で確認し、切り替えた。点差を詰め、流れをつかんだ延長戦の末、5点差で勝利した。

県大会で後半に離されて敗れることが多かったため、後半の粘り強さを課題に

練習に取り組んできた。試合でも「5分で5点縮める」など目標を設定して追い上げた。下地叶也主将は「負けている時でも最後までやり遂げることができた」と手応えを語った。

一方で、前半のパスミスなど課題も残った。県中学総体へ下地主将は「一人一人が盛り上がる楽しいハンドボールをしたい」と意気込んだ。



男子優勝の仲西のメンバー（提供）

### チーム一体、声掛け競り勝つ 浦西

○…女子浦西と神森の決勝戦。浦西がリズムを失った時に悪循環に陥るといふ精神面の課題を克服して競り勝った。山入端美香主将は「会場入りできなかったメンバーとコロナで大会に出られなかった先輩のために絶対に勝とうと決めていた」と喜んだ。

前半から決められるシュートをミスするなどペースをつかめなかったが、選手やベンチが一体となって声を掛け合っ

た。粘り強い守備から速攻に転じ、後半終了間際に同点に。延長戦の残り10秒ほどで、山入端主将がペナルティをもらい、決勝点をつかんだ。

瑞慶覧仁子外部コーチは「皆で約束した通り、一度も下を向かなかった」とたたえた。山入端主将は「新チームになって県で優勝していない。皆できつい練習を乗り越えていく」と次戦へ意欲を燃やした。



女子優勝の浦西のメンバー（提供）